

# 平成28年度 施策評価シート

基本目標	安心して暮らせるすみだをつくる
政策	410 災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる
施策	413 地域の防犯力を高める
施策の目標	すべての区民が、犯罪に巻き込まれることなく安全で安心な環境のなかで暮らしています。

## 1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
刑法犯の認知件数	件	3,500	3,947	3,658	3,517	3,524	3,368
「防犯や風紀」の生活環境に対する肯定的評価をした区民の割合	%	25	-	18.4	-	18.4	-

## 2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
防犯カメラ設置台数	台	204	211	249	278	329
地域防犯リーダー認定人数	人	21	17	33	未実施	36
地域安全マップ作成地区数	地区	3	未実施	4	3	7

## 3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<p>刑法犯認知件数は着実に減少しており、防犯カメラ設置助成等の防犯対策事業実施の成果は現れている。また、地域安全マップの作成等の防犯モデル事業については、地域の自主防犯活動の活性化に効果を発揮し、地域防犯力向上に寄与してきた。しかし、区民の更なる体感治安の向上を目指し、客引き防止対策の強化等の充実を図っていく必要がある。</p>

## 4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性（選択肢に を付ける）
(1) 優先的に資源投入を図る。
(2) 現状維持とする。
(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】
4年後の東京オリンピック・パラリンピック開催も視野に入れ、防犯の取組を着実に推進していく必要がある。
【今後の具体的な方針】
1 これまでの事業実施の効果を分析しつつ、地域防犯力向上のための事業内容の改善、効率化等 を図っていく必要がある。
2 「客引き行為等の防止に関する条例」に基づく対策や防犯設備(防犯カメラ等)設置補助等の 事業の改善を図ることにより、区民の体感治安の一層の向上を図る。



平成28年度 事務事業評価シート

整理番号 1

作成年月日: 平成28年6月16日

事務事業名	安全・安心まちづくり事業		所管課・係	安全支援課
施策	413	地域の防犯力を高める	連絡先	5608-6199
予算書名称	安全・安心まちづくり事業推進事業費		執行実績報告書ページ	49

1 事業の概要

平成18年1月に「墨田区安全で安心なまちづくり推進条例」を施行し、地域防犯力の向上を図るため、防犯カメラの設置・維持経費助成事業、地域防犯リーダー養成事業、すみだ防犯センターの運営等、様々な施策を実施している。 また、平成26年12月に「墨田区客引き行為等防止条例」を施行し、執ような客引き行為等の防止を図っている。	事業開始年度	平成17年度
	終了予定年度	

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか						
区民	に対して					
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)						
1 犯罪抑止効果が高い防犯カメラの設置・維持経費助成事業 / 2 地域における防犯活動の核となるリーダーを養成するため、地域防犯リーダー養成講座 / 3 地域が持つ犯罪発生要因を分析する力を養うため、地域安全マップ作成事業 / 4 地域における自主的な防犯パトロールを実施する個人・団体に防犯パトロール用品を支給 / 5 区民の防犯意識啓発のためのチラシ等の作成 / 6 防犯協会等への補助 / 7 青色防犯パトロールカー2台による区内巡回警備 / 8 すみだ防犯センターの運営 / 9 暴力団排除推進活動 / 10 東京スカイツリー周辺の夜間警備事業 / 11 客引き行為等防止事業	を実施したことで					
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか						
地域防犯力が向上し、犯罪発生が抑制されることで、区民が、犯罪に巻き込まれることなく安全で安心な環境の中で暮らしている	状態にする。					
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	防犯カメラの設置台数	台	目標値	230	260	290
			実績値	249	278	329
成果指標 (目的に対する指標)	刑法犯の認知件数	件	目標値	3,600	3,500	3,500
			実績値	3,517	3,524	3,368
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
活動指標(防犯カメラの設置台数)、成果指標(刑法犯の認知件数)ともに、目標値を達成することができた。 刑法犯の認知件数はピークの平成15年度から約50%減少し、区内の治安環境は改善している。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	区民生活費	項	区民活動推進費	目	区民活動推進総務費
27年度歳出予算額	95,407	27年度歳出決算額	92,806	27年度執行率	97.3%	28年度歳出予算額
27財源内訳(決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源		
	無	有	無	有		95,622
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの	墨田区地域連携治安改善サポート事業補助金					
27年度実績額	25,061	28年度予算額	24,750	対象	防犯カメラ等の防犯設備	
開始年度	H27	根拠法令	墨田区地域連携治安改善サポート事業補助金交付要綱			
算定基準	地域の見守り活動の推進を目的として、複数の地域団体から構成される協議会に対して補助する。			補助率	防犯カメラ等の設置経費のうち、区が3分の1、都が2分の1を補助する。	

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
<p>区民の防犯への取り組みに寄せるニーズは高く、今後も傾向は変わらないと推測される。また、体感治安向上のためにも更なる防犯対策を推進していく必要がある。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	上昇	前年度評価	上昇
<p>平成27年度の刑法犯認知件数は前年度より減少しており、当該事業は目標の達成手段として有効である。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	効率的
<p>防犯カメラ設置団体数の増加により事業経費は若干増加しているが、刑法犯認知件数の減少等着実な成果が見られることから、どちらかといえば効率的と判断できる。</p>				
(4)現状と課題	<p>治安環境は改善されてきているが、引き続き区民や警察と連携しながら様々な防犯対策を推進し、更なる区民の体感治安向上を図る必要がある。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	改善・見直し	判定理由	防犯対策に引き続き取り組む必要があるが、より効率的な運営を目指す。
今後の方向性 (見直しの視点)	一層の効率化を図りながら、客引き防止条例やすみだ防犯センターの運営の改善等により、防犯対策を推進する。		

平成27年度区議会の質問状況	時期	平成27年決算特別委員会
	要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動通話録音機の貸し出し方法について</li> <li>・すみだ防犯センターの廃止について</li> <li>・客引き防止事業の実態について</li> </ul>